

## 12月9日

### 期末・勤勉手当が支給されます！

12月9日支給の期末・勤勉手当は次の通りです。

		支給額		
12月	期末手当	給料×1.375		
12月	勤勉手当	区分	成績率	支給額
		特に優秀	92.5%	給料×92.5%
		優秀	85.5%	給料×85.5%
		良好	78.5%	給料×78.5%
	良好でない	73.5%	給料×73.5%	

12月期末・勤勉手当支給額＝給料×(1.375+成績率)

## 勤勉手当の成績率に係る評価結果の

## 開示請求・苦情申出ができます！

評価結果に対する開示(十分な説明を求める)や苦情申出(説明を受けた後も納得がいかない場合に申し出る)をすることができます。これは、私たち学校現場で働く者たちが、人事評価によって不利益を受けないようにするため、恣意的な運用がされないよう検証するために必要な仕組みであり、人事評価の公平性・公正性を求める仕組みでもあります。人事評価に関しての苦情相談は通年できますが、勤勉手当の成績率に係る評価結果の開示請求・苦情申出には、期間が決められています。

まず、決められた期間内に開示請求をして、説明を受けます。

12月9日支給の勤勉手当の成績率に係る評価結果の開示期間

2016年12月9日(金)から12月16日(金)まで

※学校長に対して評価結果の開示を請求します。

それでも納得がいかない場合には、苦情申出をすることができます。

12月9日支給の勤勉手当の成績率に係る評価結果に対する苦情申出期間

2016年12月9日(金)から12月28日(水)まで

※教育委員会に対して苦情申出をします。第三者に立会人を依頼することができます。

湘南教組は、神教組に対して県教委が人事評価結果における検証・改善をはかるよう求めると共に、市町教育委員会に評価者への制度理解及び検証、評価者研修の充実も求めてきました。今後も、人材育成の趣旨の徹底をはかりながら、制度検証の継続や評価者の理解を、神教組とともに県当局に働きかけて行きます。

# 第 69 回 神奈川県教職員スポーツ大会

## バスケットボール 女子準優勝・男子 4 位

女子…決勝の相手は、西湘。序盤は一進一退の攻防を繰り広げましたが、前半を13-17で折り返しました。後半中盤をすぎて、速攻やスリーポイントが決まり25-25の同点に追いつきました。その後3本のフリースローを決め、28-27と逆転に成功。しかし、最後は相手の驚異的な粘りに屈し、30-32で惜敗しました。

男子…1回戦は、リバウンドや外からのシュートが決まり43-29で横浜地区に快勝！2回戦は一進一退の攻防が続きましたが、中地区に36-38で惜敗。3位決定戦の前半戦は両チーム素晴らしいディフェンスを見せる試合展開でしたが、21-30で4位となりました。中学校と小学校の混成チームで、練習のときの雰囲気と同様、全員でバスケットを楽しみました。



## 卓球男子！！準優勝！！！！

ここ何年かは団体戦の定員である7人が集まらず、欠けた人数分は最初から相手の得点となる厳しい状況でした。しかし今回は久しぶりに7人の選手がそろい、ハンデなしで戦うことができました。また各選手のレベルも高く、全員が活躍してくれました。

決勝戦の横浜Aは、学生時代に全国で活躍した選手を揃えている強豪でしたが、オーダーを工夫し、3-4という接戦に持ち込むことができました。勝利まであと一歩だったことは、選手たちの自信となりました。

湘南チームの、声を掛け合い全員で戦う雰囲気、また、勝負は真剣ですがそれを離れた時の他地区との交流は、和気あいあいとしたものでした。大会の進行もスムーズで、中心となって運営をしていただいた役員の方々の皆さんや、組合執行部の方に感謝の気持ちでいっぱいです。また2年後を楽しみにしています。



## サッカー 湘南A 10位 湘南B 1位



サッカーの部は今年、2チームで出場しました。チーム編成は、湘南Aをアダルトチーム、湘南Bをヤングチームとしました。湘南Aは「みんなで1点を！」合言葉に奮闘。結果こそ奮わなかったものの、チームとしては、どのチームにも負けない結束力を感じました。湘南Bはさすがにヤングチーム。底知れぬ運動量で見事1位に輝きました。流れるような攻撃と、まさに堅守により湘南の意地を見せてくれました。みんないい顔していましたよ。朝早くからお疲れ様でした。

## バレーボール 35歳以上 準優勝！！！！

バレーボールは3チームが出場しました。35歳未満男子と女子は、惜しくも5位。レベルの高い試合が続く中、次第にコンビネーションが良くなってきて、あと1試合あれば、と思わせる戦いぶりでした。35歳以上男子は、優勝こそ逃したものの準優勝と、5回連続の好成績。ベテランたちの粘り強いプレーが光っていました。また、試合間には、仲間のプレーを応援し励ます姿がすばらしかったです。参加者のみなさんお疲れさまでした。



# 2017 三市一町予算要求全体交渉

湘南教組は今年度も、三市一町教育委員会と全体交渉を行い、2017年度の教育施策・予算要求書を各市町教育長に手交しました。

今年度、文部科学省が各都道府県教育委員会に「学校現場における業務の適正化に向けて」の通知を出し、教員の業務負担の軽減や業務の効率化を進めることで、子どもと向き合う時間の確保や教材研究の時間の確保が必要だと記載されています。また「チーム学校」や「地域とともにある学校」という新しい学校像への転換の中で、教職員の長時間労働の解消を図るという方向を示しました。湘南教組も各市町教委に対し、精神疾患で休職する教職員の人数が高止まりしている背景をもとに、勤務実態の改善や労働安全衛生体制の確立を求めました。また、それぞれの市町の状況を教育委員会がどのように認識し、具体的な改善にとりくむのか質問しました。

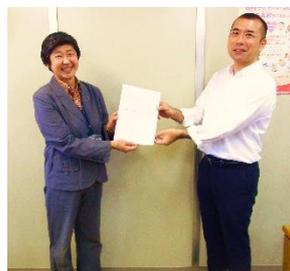
各市町教委ともに、現状の課題に対しては湘南教組と共通の認識にあり、今後も相互の信頼関係のもと、諸課題の解決に向けて協力していくとの回答がありました。また、藤沢が今年度よりスタートした労働安全衛生体制に対しても、検討も含めて真摯に対応していくとの回答がありました。全体交渉、各課交渉の主立った要求内容は以下の通りです。

## < 鎌倉 >



- 外部の衛生管理者を含めた安全衛生委員会の設置
- 給食会計事務を行う職員を市費で配置すること。
- 学校配当予算の増額
- 老朽化についての買い替えについて
- 休暇等にもなう代替者の完全配置
- 泊を伴う行事への医療従事者の付き添いを予算化

## < 藤沢 >



- 「教員の勤務実態調査」をふまえ、総労働時間短縮にむけた具体的な施策の実施
- インクルーシブ教育推進に向けた条件整備の実施
- 中・特別支援学校校務支援システムの改善
- 休職等に際する代替者の確保
- 臨任・非常勤・再任用の勤務条件の周知

## < 茅ヶ崎 >



- 安全衛生委員会の設置及び服務規程の策定
- 給食費未納にかかる事務処理について
- 中学校校務支援ソフトの改善
- 学校事務連携組織の試行開始
- 臨任・非常勤・再任用等の労働条件への配慮

## < 寒川 >



- ふれあい教育支援員の配置拡充
- 安全に飲料水が飲めるように施設・設備の改善
- 特別支援学級補助員のための予算確保
- 安全で安心な給食の維持について
- 学校配当予算の増額



# 湘南地区バレーボール大会決勝大会

11月13日(日)に湘南教職員バレーボール決勝大会が男子は茅ヶ崎市立梅田小学校、梅田中学校、女子は藤沢市立明治小学校で行われました。大会運営にあたっては会場校の職員の皆さん、準備、片付けにあたっていただいた大会運営役員の皆さん、各校のキャプテンの皆さん、ご協力ありがとうございました。

男女ともに試合は1回戦から熱戦が繰り広げられ、1本1本が手に汗を握る試合となりました。特に準決勝からの試合は互いに譲らず、長いラリーが何本も見られ真剣な眼差しと熱いものが感じられました。

男子の優勝校は茅ヶ崎市の西浜小学校でした。秋元キャプテンからは「昨年度の湘南大会では、惜しくも決勝で敗れ、悔しい思いをしました。今回の優勝は、チーム西浜の団結力をさらに高めたいと思います。仲間とボールをつないで点を取るバレーボールは、西浜小の雰囲気合うスポーツだと改めて実感しました。」と感想を頂きました。

女子の優勝校は、みごと6連覇を達成した茅ヶ崎小学校でした。丸尾キャプテンから「何より、チームワークよく、助け合いながら職員の絆を深められたのが嬉しかったです。」と感想を頂きました。

準優勝の六会小はなんと10セットも戦い抜きました。また御成中は7人でのチームでした。鈴木キャプテンから「当日は初戦敗退という残念な結果となりましたが、個々が存分に力を発揮し、悔いのない笑顔で終えることができました。」と感想をもらいました。

長い歴史を持つ湘南教職員バレーボール大会ですが、目的は職場のチームワークや人間関係を深めることにあります。今年もすべての試合で選手と応援する人たちが一体になっている姿が見られました。その力はきっと翌日からの教育活動のエネルギーになることと思います。大会に出場したすべての選手の皆さん、本当にお疲れ様でした。



男子の部 優勝校 茅ヶ崎市立西浜小学校



女子の部 優勝校 茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校

	優勝	準優勝	第三位	第三位
男子の部	茅ヶ崎市立西浜小学校	茅ヶ崎市立柳島小学校	藤沢市立滝の沢中学校	藤沢市立湘南台小学校
女子の部	茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校	藤沢市立六会小学校	藤沢市立鶴洋小学校	茅ヶ崎市立浜須賀小学校

# 震災ボランティア活動2016



帰宅困難区域入口



自然災害が多かった今年、災害からの復興がいかに困難で、時間がかかることを、改めて感じさせられました。ましてや、自然災害に原発事故が結びついた東日本大震災の被災地では、5年が経過した今も、復興が進んでいない現状がより顕著でした。

湘南教組は被災者に寄り添い、風化させないとりくみとして、震災ボランティア活動を続けています。今年度は、10月22～23日に15名が参加して行われました。1日目は、福島県の教員である関谷さんに帯同をお願いし、飯館村（居住制限区域）、浪江、双葉町（帰還困難区域）方面でフィールドワークを行いました。双葉町へ向かう途中、浪江駅に立ち寄ることができましたが、住人らしき人は駅やその周辺にも存在せず、2011年のまま時間が止まっているようでした。次に津波の被害を大きく受けた請戸地区へ向かいました。第一原発の排気筒や、津波に襲われ廃校となった請戸小学校を見ることができました。海のすぐそばの学校ですが、津波の来る寸前に少し離れた丘に逃

げ、児童、教職員の全員が無事だったそうです。耕作されなくなった田畑にはどこまでも黄色の花が咲いており、車内から見える仮設住宅の多さや駐車場の側溝で測った放射能線量が10.97 $\mu$ sV/hもあり、大変驚きました。

2日目は南相馬市小高区（避難指示解除準備区域）で、個人宅の除草や枝切り、水路の清掃など、家主やボランティアセンターの方々と一緒に作業をしました。家主の方が地震でひびの入った塀の説明や津波が近くまで襲ってきた様子等の話を聞くことができました。被災者の方々と一緒に、復興のための作業ができたことは、当時の様子も感じることができ、とてもいい経験になりました。将来の居住に備えて、昼間みの帰宅を許されている地域ですが、人に会うことはほとんどなく、すれ違うのは工事関係の車ばかりでした。未だに震災の傷跡は深く、人が住むことのできない現実を、もっと多くの人に知ってほしいと思いました。

みなさんよりお預かりした義捐金19万1708円は、福島県教組を通じて震災遺児基金として寄付させていただきました。ご協力ありがとうございました。



請戸小学校



車中からの福島第一原発

## 執行部のつぶやき

私が執行部になって初めてのオルグのことです。その分会には、私が中学生の時に世話になった英語の先生が所属していました。生徒の話を良く聞いてくれるお姉さんのような存在でした。私が教員になったことを喜んでくれて、公開授業にも駆けつけてくれました。その方は執行部の元副委員長です。いたらない私のオルグの話を補足しながら、執行部を労う言葉までかけてくれました。また、その分会の先生方も「お疲れ様」と声をかけてくれて、ガチガチに緊張していた私の肩の力が抜けて、ほっとしました。私は、その後のオルグで、その先生が言っていたことを交えてお話をしました。おかげで少し自信をもってオルグを行えたことを覚えています。

しかし、やはり初めて各校を訪問したときは、上手に答えられなかったり、活発な議論に気圧されたりしたこともありました。それでも、各分会の皆さんからの声かけが、私の元気の源になりました。

今年も年末、年始にかけてオルグが始まります。各分会の皆さんとの「つながり」を大事にしながらお話しをしたいと思います。そして意見や質問をお待ちしております。お気軽にお声かけ下さい。



## 紅葉トレッキング in 金時山

### 青年委員会企画

11月12日(土) 前日の雨とは打って変わって、透き通る青空、登山日和となりました。夕日の滝をバックに写真撮影を終えると、本格的な登山を開始しました。いくつもの川を渡り、人工林の登山道を登っていくと、尾根にでました。そこは、紅葉



した広葉樹の森が広がり、小鳥がさえずり、とても気持ちの良い空間でした。そして、しばらく歩き、最後の急な斜面を登り切り、頂上へ。



頂上からは、大涌谷、芦ノ湖など、箱根山の全貌が一望できました。富士山は・・・残念ながら雲がかかっており、見られませんでした。そこで、昼食をとり、ココアやコーヒーで一服し、至福の一時を味わいました。その後下山し、温泉につかってまったりして帰ってきました。





## 産休・育休者 応援セミナー

日時：2017年1月28日(土) 10時

場所：湘南教育会館

安心して産休・育休に入ってもらふこと、産休者や育休者が職場に不安なく復帰できることを目的にセミナーを開催いたします。

湘南教組から権利や制度について情報を提供いたします。日ごろ疑問に思っていることや不安を感じていることを相談にしていければと思います。

お近くの対象の方にお声かけ下さい。

申込み方法など詳しくは、今後出る連絡文を参照下さい！

今年もやります！毎年好評！青年委員会企画！

## ★スキー・スノボ★ツアー ～IN サンメドウズ清里～

出発日：2017年1月14日(土)

費用：1人5000円

募集締切：12月22日(木)

申込み方法など詳しくは  
連絡文を参照下さい！



定員は先着順40名！

申込みはお早めに！

6：45 藤沢駅南口集合（詳細は別途連絡）

10：00頃 スキー場着 ⇒ 準備ができた人から滑走

13：00頃 各自で昼食休憩

15：30 滑走終了 ⇒ お風呂へ移動

21：00頃 藤沢駅周辺にて解散